

委員長	事務局長	課長	主務係長 : 関係係長	書記
令和5年 第2回委員会会議録				
1	開催年月日 令和5年1月20日(金)			
2	開閉会時刻 開会:午前10時30分 閉会:午前11時07分			
3	場 所 福岡市選挙管理委員室			
4	出席委員 稲員委員長、大石委員長職務代理者、江藤委員、石井委員			
5	事務局職員 事務局長、選挙課長、庶務係長、選挙係長			
6	傍聴者 なし			
7	議 題			
	(1) 報告事項			
	① 選挙人名簿から抹消する者の数について			
	② 在外選挙人名簿登録者数について			
	③ 政治活動のために使用する事務所に係る立札及び看板の類に表示する証票の交付状況について			
	(2) その他			
	次回以降の委員会の開催予定日時			
	・令和5年2月6日(月)午前10時30分			
	・令和5年2月20日(月)午前10時30分			
	・令和5年3月6日(月)午前10時30分			
8	議事次第(○:出席委員、▲:事務局職員)			
	(1) 報告事項			
	報告事項について、事務局から資料の説明・報告を行った。			
	(2) その他			
	・次回以降の委員会の開催日時は、資料記載のとおり決定した。			

【質疑等】

○ 今回新たに期日前投票所を設置したことで、前回と比較してどれくらい期日前投票者数が増えたのか。

▲ 今回の期日前投票者数が168,211人となっており、前回と比較して52.7%増えている。そのうち、商業施設における期日前投票者数が39,887人であり、その他の期日前投票所における投票者数が128,324人であるため、商業施設における期日前投票者数が期日前投票者数の全体の23.71%占めていた。

○ 全投票者数のうち、商業施設における期日前投票者数はどれくらいの割合となっているのか。

▲ 全投票者数が440,035人となっているため、全投票者数に占める商業施設における期日前投票者数の割合は約9%となっている。

○ 商業施設における期日前投票者数が非常に多かったように感じる。こうした、全体に占める割合などから、期日前投票所を新たに設置したことによる効果を分析すべきである。

○ 平成30年に行われた福岡市長選挙の際に大学に期日前投票所を設置していたと思うが、今回は設置がなかったようだ。

▲ おっしゃるように4年前の福岡市長選挙の際には市内4箇所の大学に設置していた。しかしながら、各大学において投票できる選挙人に制限があったことなどから、想定していた成果が上げられなかった。

○ 大学における期日前投票は周知に力を入れることで投票者数の増加は見込めたように思う。

▲ 今回は前回大学に設置した際の課題を踏まえて、利便性や設置期間を検討し商業施設に設置した。選挙人からも好評であったため、引き続き商業施設を含め新たな設置箇所について検討を行っていきたい。なお、今回の福岡市長選挙では、市内の大学に通う学生向けの啓発として、選挙期日についてのメール配信や大学に設置されている掲示板での啓発などを行っている。